

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月27日

東北しんきん健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	14155
組合名称	東北しんきん健康保険組合
形態	総合
業種	金融業、保険業

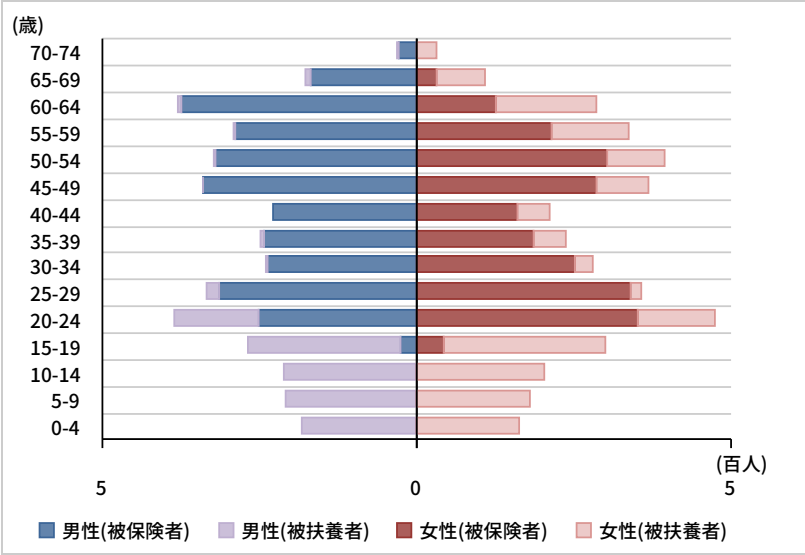
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	4,999名 男性54.3% (平均年齢44.9歳) * 女性45.7% (平均年齢39.7歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	7,968名	-名	-名
適用事業所数	38カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	447カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	103‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	27	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	2,853 / 3,533 = 80.8 %	
	被保険者	2,552 / 2,796 = 91.3 %	
	被扶養者	301 / 737 = 40.8 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	175 / 510 = 34.3 %	
	被保険者	170 / 479 = 35.5 %	
	被扶養者	5 / 31 = 16.1 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	3,556	711	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	7,590	1,518	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	3,220	644	-	-	-	-
	疾病予防費	69,300	13,863	-	-	-	-
	体育奨励費	980	196	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	2	0	-	-	-	-
	小計 …a	84,648	16,933	0	-	0	-
経常支出合計 …b	2,192,365	438,561	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	3.86		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	26人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	251人	25～29	314人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	238人	35～39	243人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	228人	45～49	341人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	321人	55～59	289人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	374人	65～69	169人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	28人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	43人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	350人	25～29	341人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	251人	35～39	187人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	161人	45～49	285人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	303人	55～59	213人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	125人	65～69	31人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	183人	5～9	209人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	211人	15～19	242人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	133人	25～29	21人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	4人	35～39	5人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	3人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	6人	65～69	9人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	162人	5～9	180人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	202人	15～19	256人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	123人	25～29	17人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	28人	35～39	50人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	50人	45～49	82人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	92人	55～59	122人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	160人	65～69	76人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	31人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

1. 中規模な健保組合である。（被保険者数約5千名、加入者数約8千名）
2. 事業主の拠点が東北6県に点在している。
3. 加入者構成が男性が40歳代後半以降に、女性は20歳代、50歳代に偏っている。
4. 被保険者の男女割合はほぼ半数ではあるが、男性の割合が若干多い。
5. 当健保組合には医療専門職が不在である。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・人間ドック等の健診事業に重点的に予算を投資し早期発見・早期治療に努めているが、生活習慣病が占める医療費の割合が高いことから、今後は健診結果からリスク階層化した保健事業の推進が必要と考える。
- ・事業主との協働（コラボヘルス）が確立できていない。

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	後発医薬品の使用促進
保健指導宣伝	診療報酬額の通知
体育奨励	ウォーキングキャンペーン
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	事業功労者表彰
保健指導宣伝	ホームページ作成
疾病予防	人間ドック
疾病予防	高齢者への訪問保健指導
疾病予防	重症化予防
体育奨励	東北地区信用金庫野球大会
事業主の取組	
1	(予算措置なし)

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	7	後発医薬品の使用促進	後発医薬品に切り替えることで、薬剤費の削減をする	全て	男女	0～74	加入者全員		年2回 4月と10月診療分レセプトから0、自己負担が500円以上の差額が出る場合個別に通知	安価な具体的な商品名から、切り替えた場合の差額を計算している	後発品の効能効果についての理解度がまだ低い	4
	2	診療報酬額の通知	医療機関での医療費に関心を持ってもらう	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	246	レセプト全件数 毎月1回 事業主を通して被保険者ごとに送付している	確定申告医療費控除に使用できる様式	内容を見ることなく処分するなど、医療費への関心が低いものが存在する	4
体育奨励	2	ウォーキングキャンペーン	専用アプリをダウンロードしてもらい、歩くことによる健康意識を持ってもらう	全て	男女	18～74	加入者全員	698	5月と10月の各1ヶ月間での歩数を記録スマートフォンに専用アプリをダウンロードしてもらい参加者 663人	歩数計を使用し、紙による自己申告も対象としている	スマートフォンを保持していない人は参加しづらい記録表の提出が面倒である	2
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査	メタボリックシンドロームに着目した健康状況の把握	全て	男女	40～74	加入者全員	3,533	対象者 3,533人 受診者 2,853人 受診率 80.8%	事業主の健康管理に対する理解度が高いため、被保険者は受診率が高い	被扶養者の受診率が低い	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	メタボリックシンドロームに着目した健康状況の把握	全て	男女	40～74	加入者全員	3,799	積極的支援 対象者 304人 終了者 83人 動機付け支援 対象者 306人 修了者 92人 特定保健指導実施率 34.3%	医療機関と個別契約し、健診当日に保健指導を行っている 個別に情報誌を郵送し、指導を奨励している	時間が取れない 対象者の保健指導に対する理解度が低い	3
保健指導宣伝	2	事業功労者表彰	1年間の無受診健康家庭の表彰	全て	男女	18～74	基準該当者	868	1年間の無受診健康家庭を表彰する表彰者 360人	安易に受診せず、常備薬を活用している人も多数と思われる	受診機会がないことによる重症化が懸念される	4
	2	ホームページ作成	健康保険組合の事業内容の周知及び健康に関する各種情報をWEBで発信	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	312	情報を随時アップしている	申請書等の書類を掲載することにより、手続きが簡素化される	パソコン環境が未整備である(高齢者)	4
疾病予防	3	人間ドック	自身の健康状態を把握し、早期発見・早期受診行い、健やかな生活を送る	全て	男女	35～74	加入者全員	53,662	通年実施 被保険者(20,000円補助) 受診者数 2,644人 被扶養者(8,000円補助) 受診者数 110人	東北6県の96の医療機関と契約し、受診しやすい環境となっている	受診率を100%に近づける	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	4	高齢者への訪問保健指導	保健師等の専門職による、自宅訪問での保健指導	全て	男女	60～74	被扶養者	262	保健指導の必要性を訴える案内を送付している 年2回の自宅訪問	保健師などの専門職が、同居家族も含めて、自宅環境を把握しながら、幅広く健康相談を行っている	申し込みが少なく、同一者が対象者	2
	4	重症化予防	早期に医療機関への受診が必要な人に促すことで、重症化を予防する	全て	男女	40～74	基準該当者	21	糖尿病性腎症重症化予防・高血圧に起因する脳卒中予防を実施 保健指導の必要性を訴える案内を送付している 面談による、年3回の指導による継続を行っている	傷病の現状や疾病予防の必要性・勧誘を、保健師等が積極的に行っている	指導対象者の受診者数が少ない	2
体育奨励	8	東北地区信用金庫野球大会	野球を通じ心身の鍛錬と、信用金庫業界の連帯と交流	全て	男性	18～74	その他	244	年1回東北各県の持ち回り実施	信用金庫業界の連携と交流がある	一部の野球経験者のみの参加となってしまう	5


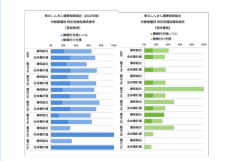
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
(予算措置なし)	-	-	-	~	-	-	-	-

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

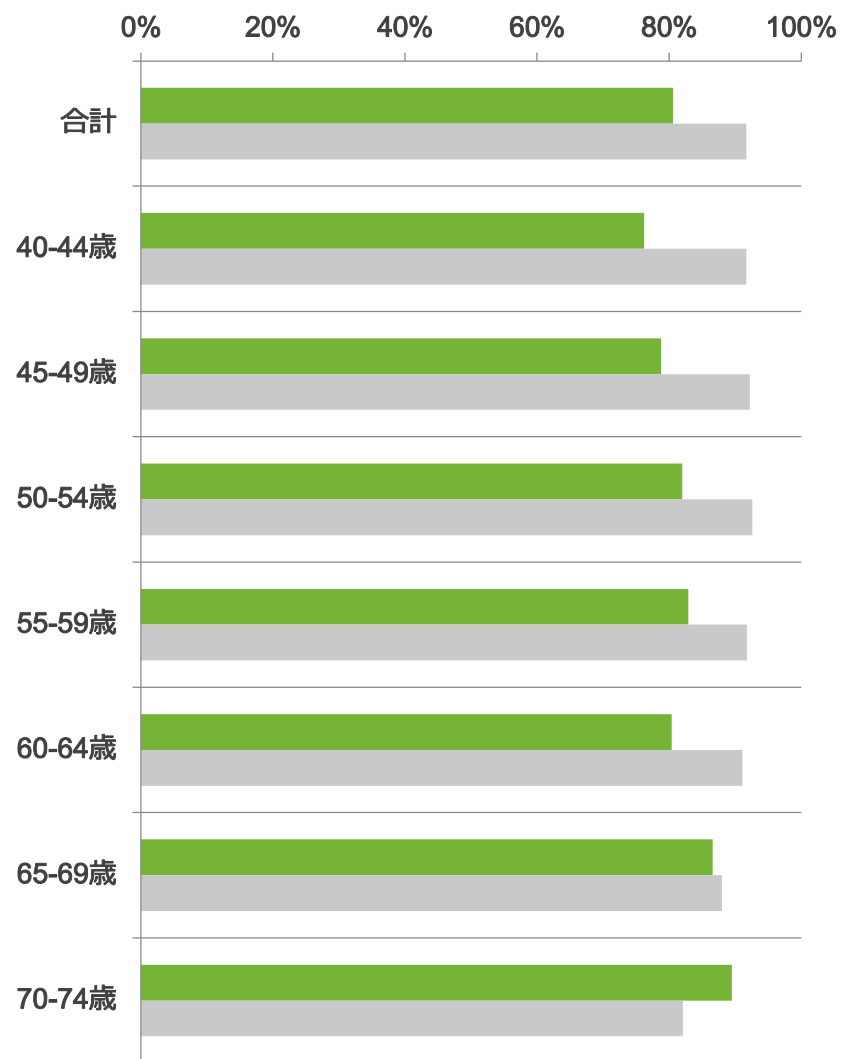
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		年齢階層別 特定健診受診率	特定健診分析	-
イ		年齢階層別 特定保健指導実施率	特定保健指導分析	-

東北しんきん健康保険組合（2022年度）

年齢階層別 特定健診受診率

【被保険者】

■ 健保組合 ■ 全体集計値

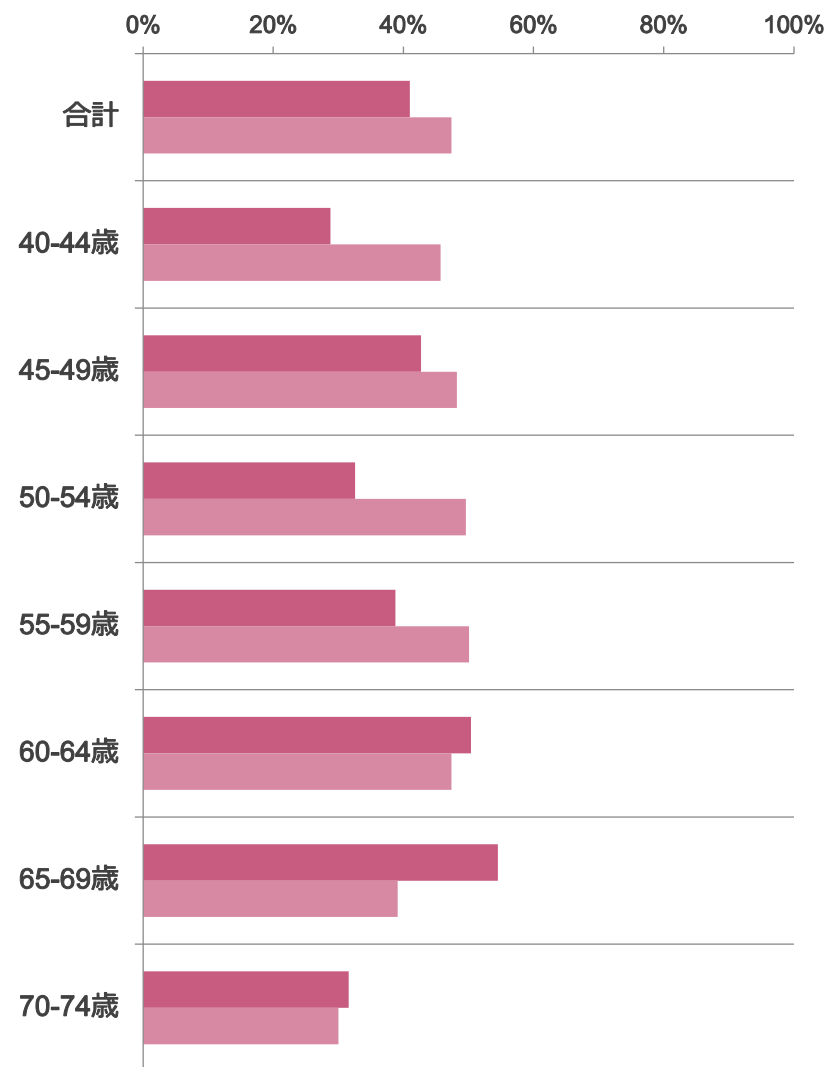


東北しんきん健康保険組合（2022年度）

年齢階層別 特定健診受診率

【被扶養者】

■ 健保組合 ■ 全体集計値

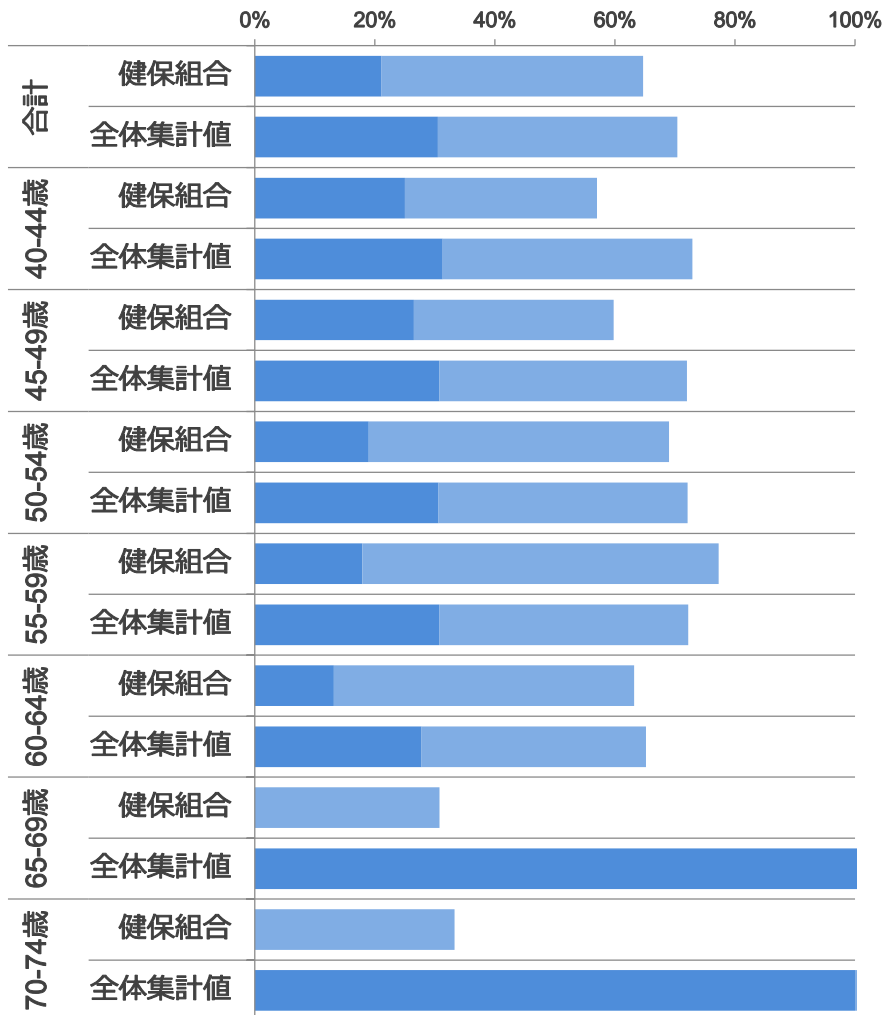


東北しんきん健康保険組合（2022年度）

年齢階層別 特定保健指導実施率

【被保険者】

■ 積極的支援レベル
■ 動機付け支援

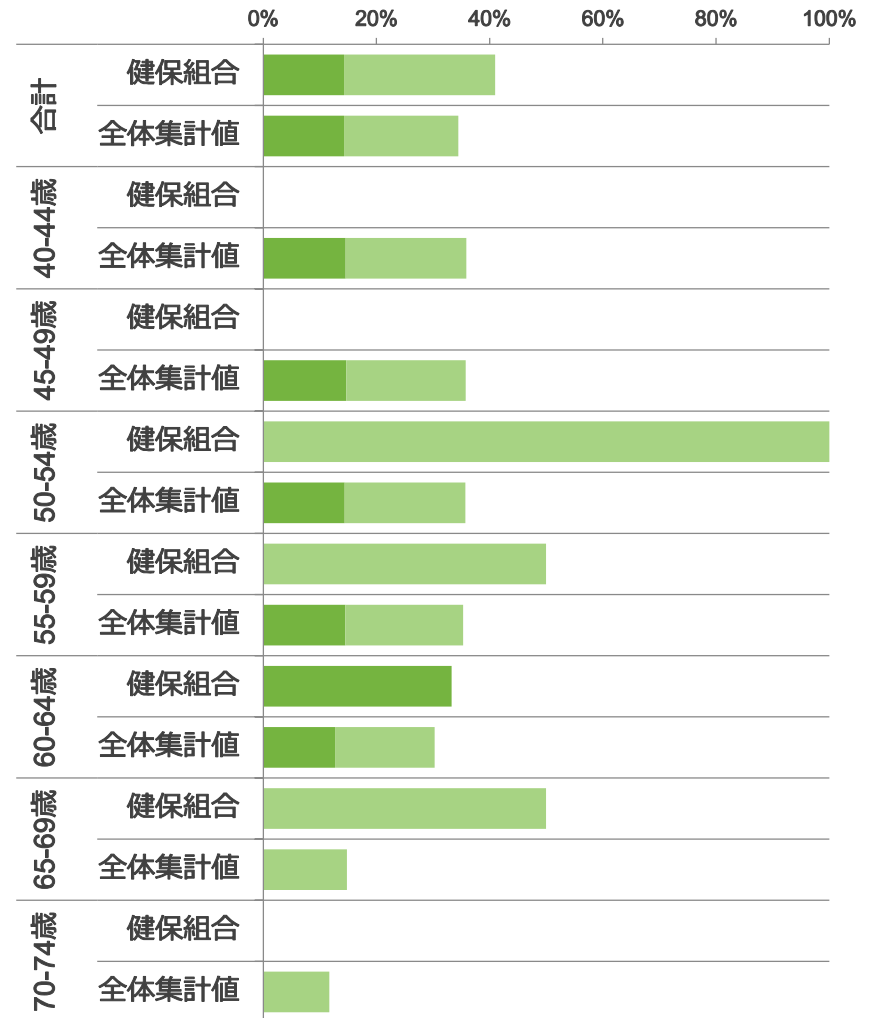


東北しんきん健康保険組合

年齢階層別 特定保健指導実施率

【被扶養者】

■ 積極的支援レベル
■ 動機付け支援



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ	生活習慣病のリスクが高まっているにもかかわらず、医療機関を受診せず放置している	➔	個人毎の健診結果レポート等を配布することにより、受診率の向上を目指す	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	東北6県の信用金庫で構成される総合型健保であり、事務職がほとんどを占める。被保険者の男女比率は男性が若干多いが、ほぼ同数である。	➔	年齢構成・疾病別の受診状況に留意しながら、中長期的に保険事業を展開する。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者の特定健診受診率は8割を超えているが、被扶養者は低調である。	➔	個別の情報機関紙や事業主を通じた働きかけや、ホームページで理解してもらう。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

高血圧に起因する脳卒中予防・糖尿病性の重症化予防を優先的に実施し、発症を抑えることによる医療費削減を目的とする。

事業全体の目標

保健指導対象者を中心に受診率及び継続率の向上を目指す。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	後発医薬品医薬品の使用促進
保健指導宣伝	診療報酬額の通知
体育奨励	ウォーキングキャンペーン

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	訪問健康相談事業
保健指導宣伝	ホームページ作成
疾病予防	人間ドック
疾病予防	重症化予防
疾病予防	インフルエンザ等予防接種
疾病予防	感染症予防対策
疾病予防	事業功労者表彰
体育奨励	東北地区信用金庫野球大会

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連										
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																	
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度												
アウトプット指標												アウトカム指標																		
職場環境の整備																														
加入者への意識づけ																														
保健指導宣伝	7	既存	後発医薬品医薬品の使用促進	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ク	年2回 自己負担の差額が500円以上削減されるレセプトを抽出	ウ	被保険者・被扶養者ごとに親展文書で事業所を通じて配布する	10	-	-	-	-	-	ジェネリック医薬品の安価な医薬品への切り替え	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)										
													送付数(【実績値】80% 【目標値】令和6年度:80% 令和7年度:81% 令和8年度:81% 令和9年度:82% 令和10年度:85% 令和11年度:85%)-												理解率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度:81% 令和7年度:82% 令和8年度:83% 令和9年度:84% 令和10年度:85% 令和11年度:86%)-					
													2	既存	診療報酬額の通知	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ス	レセプト全件数 毎月1回	シ	被保険者単位で事業主を通して配布	400	-	-	-	-	-
発行件数(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:100% 令和7年度:100% 令和8年度:100% 令和9年度:100% 令和10年度:100% 令和11年度:100%)-												実績値(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:100% 令和7年度:100% 令和8年度:100% 令和9年度:100% 令和10年度:100% 令和11年度:100%)-																		
5	既存	ウォーキングキャンペーン	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ア	紙による自己申告アプリをダウンロードしてもらう	シ	参加希望者を募り、1ヶ月間での目標歩数達成者に景品を進呈する	700													-	-	-	-	-	毎日の健康習慣をつける
												参加者(【実績値】500人 【目標値】令和6年度:550人 令和7年度:560人 令和8年度:570人 令和9年度:580人 令和10年度:590人 令和11年度:600人)-												達成者(【実績値】120人 【目標値】令和6年度:130人 令和7年度:140人 令和8年度:150人 令和9年度:160人 令和10年度:170人 令和11年度:180人)-						
												個別の事業																		
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査	全て	男女	40～74	被保険者,基準該当者	1	ケ,コ	特定健診の法的項目を実施	ウ	人間ドック及び事業主が行う労働安全衛生法との連携	3,556	-	-	-	-	-	メタボリックシンドロームに着目した健康状況の把握	生活習慣病のリスクが高まっているにもかかわらず、医療機関を受診せず放置している										
													特定健診実施率(【実績値】80.8% 【目標値】令和6年度:81% 令和7年度:82% 令和8年度:83% 令和9年度:84% 令和10年度:85% 令和11年度:86%)-												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】12.1% 【目標値】令和6年度:12% 令和7年度:12% 令和8年度:11% 令和9年度:11% 令和10年度:10% 令和11年度:10%)-					
													4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	オ,ク,コ	指導対象者に保健師等との面談で保健指導実施	ウ	委託業者による、専門職による保健指導	7,590	-	-	-	-	-
特定保健指導実施率(【実績値】34% 【目標値】令和6年度:35% 令和7年度:36% 令和8年度:37% 令和9年度:38% 令和10年度:39% 令和11年度:40%)-												特定保健指導対象者割合(【実績値】510人 【目標値】令和6年度:500人 令和7年度:490人 令和8年度:480人 令和9年度:470人 令和10年度:460人 令和11年度:450人)-																		
保健指導宣伝	6	既存	訪問健康相談事業	全て	男女	60～74	被扶養者	1	イ,オ	希望者の日程に合わせて訪問	ウ	委託業者による訪問指導													560	-	-	-	-	-
													350																	

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標									
疾病予防	5	既存	ホームページ作成	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ス	WEBで各種情報を随時掲載	シ	WEB	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新	健康保険制度を理解してもらう	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
	-												-								
	3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	基準該当者	1	ク,コ	事業主経由で予約を取ってもらい受診	ウ	利用券を発券し、費用の一部補助を行う(被保険者20,000円・被扶養者8,000円)	契約医療機関での受診	契約医療機関での受診	契約医療機関での受診	契約医療機関での受診	契約医療機関での受診	契約医療機関での受診	契約医療機関での受診	該当者の受診率の向上	生活習慣病のリスクが高まっているにもかかわらず、医療機関を受診せず放置している
	目標値【実績値】95% 【目標値】令和6年度：95% 令和7年度：96% 令和8年度：96% 令和9年度：96% 令和10年度：96% 令和11年度：97%-												実績値【実績値】85% 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：86% 令和8年度：86% 令和9年度：87% 令和10年度：87% 令和11年度：88%-								
	4	既存	重症化予防	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ,オ	高血圧160/100mmgh以上・HbA1C6.5mmg以上者を抽出	ウ	委託業者による保健師・看護師等による自宅訪問	個別面談による実施	個別面談による実施	個別面談による実施	個別面談による実施	個別面談による実施	個別面談による実施	個別面談による実施	糖尿病性腎症の重症化予防並びに高血圧に起因する脳卒中・心筋梗塞の発症予防	生活習慣病のリスクが高まっているにもかかわらず、医療機関を受診せず放置している
	周知率【実績値】95% 【目標値】令和6年度：95% 令和7年度：95% 令和8年度：95% 令和9年度：95% 令和10年度：95% 令和11年度：95%-												受診人数【実績値】5人 【目標値】令和6年度：6人 令和7年度：7人 令和8年度：8人 令和9年度：9人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-								
	8	新規	インフルエンザ等予防接種	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ス	インフルエンザ予防接種の費用の一部を補助(2,000円上限)	シ	個人が医療機関等で実施	予防接種の受診状況・効果等について検討し継続実施	予防接種の受診状況・効果等について検討し継続実施	予防接種の受診状況・効果等について検討し継続実施	予防接種の受診状況・効果等について検討し継続実施	予防接種の受診状況・効果等について検討し継続実施	予防接種の受診状況・効果等について検討し継続実施	インフルエンザ予防接種による感染予防と重症化を防ぐ	該当なし	
	目標値【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-												実績値【実績値】50% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%-								
	実施率【実績値】50% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%-												-								
	8	新規	感染症予防対策	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	ス	不織布マスク・消毒液等の配布	シ	複数の中から被保険者の希望するものを、指定業者を通じて各事業所に配布	感染症の予防に対する意識・保健衛生の重要性を理解してもらう	感染症の予防に対する意識・保健衛生の重要性を理解してもらう	感染症の予防に対する意識・保健衛生の重要性を理解してもらう	感染症の予防に対する意識・保健衛生の重要性を理解してもらう	感染症の予防に対する意識・保健衛生の重要性を理解してもらう	感染症の予防に対する意識・保健衛生の重要性を理解してもらう	感染症の予防に対する意識・保健衛生の重要性を理解してもらう	使用状況・効果等を把握しながら継続実施	該当なし
	周知率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-												実績値【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-								
	2	既存	事業功労者表彰	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ア	1年間無受診健康家庭を抽出(現金給付・療養費・柔道整備を含む)	ク	1年間無受診健康家庭を表彰	1年間無受診健康家庭を表彰する	1年間無受診健康家庭を表彰する	1年間無受診健康家庭を表彰する	1年間無受診健康家庭を表彰する	1年間無受診健康家庭を表彰する	1年間無受診健康家庭を表彰する	1年間無受診健康家庭	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
	目標値【実績値】350人 【目標値】令和6年度：350人 令和7年度：350人 令和8年度：350人 令和9年度：350人 令和10年度：350人 令和11年度：350人)-												目標値【実績値】350人 【目標値】令和6年度：350人 令和7年度：350人 令和8年度：350人 令和9年度：350人 令和10年度：350人 令和11年度：350人)-								
	体育奨励	5	既存	東北地区信用金庫野球大会	全て	男性	18～(上限なし)	加入者全員	2	ス	参加事業所対戦	サ	東北6県代表がトーナメント方式で対戦	年1回東北6県各事業所の持ち回りで開催	年1回東北6県各事業所の持ち回りで開催	年1回東北6県各事業所の持ち回りで開催	年1回東北6県各事業所の持ち回りで開催	年1回東北6県各事業所の持ち回りで開催	年1回東北6県各事業所の持ち回りで開催	信用金庫間の交流と連携	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
		実績値【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：101% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-												実績値【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他